

ユニフォームのリサイクルに関する取り組み

会場内には様々なユニフォームを着用したスタッフが、来場者の皆さまをお迎えしています。万博が終了した後、ユニフォームはどうなるのか！？2種類のユニフォームに関する取り組みを少しだけ紹介します。

●スタッフ用ユニフォーム

堆肥分解性ポリエステルをユニフォームの生地だけでなくファスナーやワッペンなどのアクセサリにも使用したユニフォームは、万博終了後、牛糞を使用した堆肥により水と二酸化炭素に分解されます。

(協賛者：株式会社 V&A Japan)



●医師スタッフユニフォーム

国内産の間伐材を利用した木の糸で作られていて、万博終了後は生地を糸に戻して、園芸エプロンやエコバッグなどに姿を変え、2027年国際園芸博覧会で使用される予定です。

(協賛者：木の糸コンソーシアム)



以上